

青森県立美術館 ▲  
AOMORI MUSEUM OF ART

令和7年12月10日

報道機関各位

青森県立美術館

**大韓民国 済州道立美術館の主催により  
青森県立美術館との国際交流展「風と森の対話」が開催されます**

県と済州特別自治道は、両地域の友好交流・協力を促進するため、2011年には友好交流協定を、2016年には姉妹提携協定を締結し、これまで世界自然遺産や美術、マラソンなど幅広い分野にわたって交流を推進してきました。

今般、済州道立美術館の主催により、青森県立美術館との国際交流展「風と森の対話」が開催されますのでお知らせします。なお、開幕式の画像や動画を希望する場合はお知らせください。

記

**1 開幕式日時、次第**

令和7年12月15日（月）11:00

次第

- ・歓迎挨拶、祝辞、祝賀公演、記念撮影、展示観覧

主な出席者

- ・済州特別自治道 キム・エスク政務副知事
- ・済州特別自治道 道議会 イ・サンボン議長
- ・済州道立美術館 イ・ジョンフ館長
- ・在済州日本国総領事館 池田 洋一 総領事
- ・青森県知事 宮下 宗一郎（青森県立美術館 工藤副館長代理出席）

**2 会場、会期**

大韓民国 済州道立美術館（済州市）

令和7年12月16日から令和8年3月15日まで

**3 企画展概要**

展覧会名：国際交流展《風と森の対話》

展示内容：青森県と済州が共有する現代美術の接点を探査し、「時を抱く島」済州と「北の森」青森それぞれの風景と歴史の中から、新たな同質性と繋がりの可能性を探る展示会（詳細は別添リーフレットのとおり）

作品数：済州市および青森県の代表作家による作品 計125点

参考：青森県立美術館からの出品作品（作家11名、63点）

奈良美智、佐野ねい、工藤哲巳：本県を代表する現代美術作家の作品

棟方志功：青森の信仰や自然イメージ、豊かな女性や女神を描いた作品

小島一郎：戦後の農村や人々の生活をとらえた写真作品

小野忠明：高句麗壁画や青森の縄文文化など考古学的なイメージを融合させた版画作品など。

| 報道機関用提出資料（連絡先） |                        |
|----------------|------------------------|
| 担当             | 青森県立美術館 経営管理課<br>石山、沼田 |
| 電話番号           | 017-783-5240           |
| 所属長            | 青森県立美術館<br>副館長 工藤 泰正   |



